

私がEPAプログラムに受かったのを知った両親は、本当かどうか知り合いに結果通知書を見せて確認しました。

QuynhさんはHai Duong技術医学大学を卒業したばかりの時に、EPA（経済連携協定）介護福祉士候補者のプログラムを知りました。そのプログラムの窓口になる機関に直接連絡し、必要な書類を準備し、手続きをすべて自分で済ませました。

Q

Nguyenthithanhquynh

...



ほぼ無料で日本で働けるプログラムとわかり、窓口になる機関に電話して申込方法を聞き、書類を作成しました。その時、運がよかったら、採用されるかも... そうじゃなくてもとりあえずやってみようと思いました。

これは政府によって実施されているプログラムなので、騙されるという心配はありませんでした。でも両親はやっぱり不安のようでした。私がこのプログラムに受かったのを知った両親は、本当かどうか知り合いに通知書を見せて確認しました。



通知書をもらった後、私は日本語を12か月間勉強することになりました。出国する条件はN3に合格することなので、出国するまでに、N3相当レベルになるまで勉強をしました。

日本に行ってから、技能実習生のように、最初の2か月間は東京にある研修センターで勉強しました。その後、受け入れ先の担当者に大阪にある施設に連れて行ってもらいました。新幹線で東京から大阪に行くのに2時間強かかりました。新幹線から降りた時、会社の人に「しんどい？」と聞かれました。何を言われているかわかりませんでしたので、戸惑っていたら「疲れましたか？」ともう一度聞かれました。その時初めて気をかけてもらったと理解できました。



「孫の嫁としていただきこう」とよく言われていました。

高齢者の施設で働いたQuynhさんは同僚から親切にサポートしてもらい、そしてそこに住んでいる高齢者の方とも仲良くやっていました。



入社したばかりの時、同僚にいろいろサポートしていただきました。慣れてからは一人で仕事をする形だったので、プレッシャーも軽減されました。

私の仕事は介護で、人を相手にする仕事で、その人の最期の日までサポートをする仕事です。一緒にいる時間は長ければ長い程、自分の祖父母のような存在になります。そのため、施設にいる方が亡くなったときは悲しくなり、喪失感を感じました。

施設では、高齢者のお世話をすること以外に、高齢者も誰かと話したいという気持ちがあると思ったので、彼らに日頃よく話しかけ、コミュニケーションを取るようになっていました。おじいさんおばあさんたちは、よく若い頃の話をお話してくれたり、遊んだ場所について話してくれたり、料理を教えてもらったりしました。そして、「孫の嫁としていただきこう」とよく言われていました。

日本の色々な所に行きました。

Quynhさんが日本にいたのは2014年6月から2018年2月までの3年半でした。日本での生活に特に不自由なことはありませんでした。

住まいは会社に用意してもらいました。もう一人のベトナム人と一緒に住んでいましたが、部屋は二つあったので別々に使い、キッチンとほかのスペースは共有でした。駅まではちょっと遠かったですが、会社に提供してもらった自転車を利用していました。住んでいる建物の一階にスーパーがあり、すぐ近くに公園もあったので、休日はよくその公園で散歩をしました。住む環境は整っていました。また、EPA（経済連携協定）介護福祉士候補者が働く施設は日本中にありますので、一緒にEPAに参加している友人の家に遊びに行くたびに、日本の色々な所に行きました。

日本の好きなもの

日本で一番便利なものと言えば、電車です。電車はいつも、ぴったりの時間に来て、どこへでも行けます。紅葉が綺麗なため、日本の好きな季節は秋です。大阪には紅葉を楽しめる所が多いですが、人気のスポットと言えば星田園地です。そこに吊り橋があり、橋を歩いて渡るときに見える紅葉の景色はとても美しいです。



あなたへのヒント

Q:日本で働いた経験を今の仕事にどのように活かしていますか。

A: 介護分野の経験がありますので、ベトナムで介護の学習者に向けた日本語教育系の求人を見つけて、応募しました。入社後は、基礎の日本語と専門の日本語を教えています。また、日本で働いたときの経験も伝えています。私の経験が学生の役に立てると思うと嬉しいです。学生には、「日本語の勉強はとても大切です」とよく言っています。ベトナムにいるときは、その大切さはまだ実感できないかもしれませんが、実際に日本に行ったらその大切さを痛感しますよ、と伝えています。

Q:介護の仕事をするとき、どんなことに気をつけていましたか。

A:いつも高齢者のことを気をかけて、油断をしないことです。高齢者の場合、ちょっとした変化で、健康に影響を及ぼすことがあります。そのため、細かいところまで気を付けないといけません。そして、高齢者の方々に信頼してもらうために積極的にコミュニケーションをとることが必要です。また、介護の仕事にはチームワークが欠かせないため、同僚とも良い関係づくりをすることが大切です。同僚に相談することでストレスを軽減することもできます。